

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名	くまもとの6次産業化総合対策事業(6次産業化加速化整備事業たけモンプロジェクト支援型)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり	所属部	事業部	課長名	岐部則夫
体系	施策	11	農業の振興	所属課	農政課	担当者名	岡本貴子
	基本事業	33	経営力の強化・生産品の価格安定	所属班	農政班	(内線)	1174
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠	くまもとの6次産業化総合対策事業(6次産業化加速化整備事業) 成果優先度評価結果 ; コスト削減優先度評価結果 ;
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始			事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	熊本県単独補助事業で、県が提唱する「稼げる農林水産業」を目指し、平成25年度から「たけモンくまモンうまかモンプロジェクト(小泉先生監修)」商品として認定された商品の全国展開を図るため、必要な農産加工機械・機器の整備等に必要経費を補助する事業。 要件・補助率1/2(補助限度額1,000千円)、たけモンくまモンうまかモンプロジェクト(小泉武夫先生監修)商品認定事業者。
【業務の流れ】	熊本県より7月下旬に内報受理予定、事業者より実施計画書を受付、その後、熊本県に実施計画書を提出し、内示→決定を受け9月補正予算確定後10月以降に事業着手予定。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	なし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
熊本県補助事業を利用してプレハブ冷蔵庫・牛乳缶を導入する	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位); 予算の主な増減の理由
→ア:本市におけるたけモンくまモンうまかモンプロジェクト支援型事業申請数(平成26年度)	件
→イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
補助事業申請者	(単位)
	→ア:本市におけるたけモンくまモンうまかモンプロジェクト商品認定事業者
	人
	→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
対象加工品の増産・安定出荷ができる	(単位)
	→ア:本事業で整備した農産加工機械・機器等数
	本
	→イ:
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
認定された商品の全国展開を図るため、農産加工機械・機器の整備等に必要経費を補助する事業のため。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移	単位	実績(決算)	実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア 件 イ			1	1	0			
②対象指標	ア 人 イ			2	2	0			
③成果指標	ア 本 イ			2	2	0			
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円		500	500			
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円		500	500	0		
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0		
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0		
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	0		
		延べ業務時間	時間		150	147	0		
(B)人件費計		千円		597	585	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円			1,097	1,085	0			

事務事業名	くまとの6次産業化総合対策事業(6次産業化加速化整備事業たけモンプロジェクト支援型)	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	--	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 単年度事業のため、次年度目標なし	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 単年度事業のため、成果向上余地なし	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 単年度事業のため、統廃合・連携の可能性なし	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 単年度事業のため、削減余地なし	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 単年度事業のため、削減余地なし	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 対象者が「たけモンくまモンうまかモンプロジェクト(小泉武夫先生監修)」商品認定事業者なので、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金交付一連の事務のため、行政以外での対応はできない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

認定された商品の増産および安定的な出荷が可能になった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 補助金交付申請があった段階で予算計上を行い、事務の執行を行う。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						